

羽村市として横田基地返還の取り組みを

3月定例議会での中原議員の米軍横田基地についての一般質問の概要をお知らせします。

アメリカでは飛行訓練にさいしては、人間はもとより、動植物に影響を与えてはならないということになっています。飛行訓練を行っているアメリカ空軍の基地で有名なエドワーズ空軍基地は動植物に影響を与えないために、砂漠のなかに作られています。人口密集地域の上空で米軍が我が物顔に訓練を行っているのはアメリカの常識からみても異常なことです。

横田基地は現在、航空自衛隊航空総隊司令部移設のための工事がおこなわれており、今年移設される予定となっています。すでに横田基地に設置されている「共同統合運用調整所」と航空総隊司令部は地下のトンネルで結ばれる予定とのことです。共同統合運用調整所は英文でThe Bilateral Joint Operations Coordination Centerとなっています。「Operations」は英和辞典では軍事用語で作戦、軍事行動となっています。つまり、日米で一体となって戦争を行うための司令部なのです。中原議員は横田基地の実態を示す写真や図のパネルを示しながら、一般質問を行いました。

中原 横田基地への航空自衛隊航空総隊司令部の移駐が完了した場合、基地周辺の自治体、住民にどのような影響が考えられるか。

市長 平常時には、総隊司令部への連絡や、移動のために航空機が飛来することはあり得るが、影響は少ないとのこと。近隣市（武蔵村山市）には家族を含む職員の宿舎が予定されており、市民税等の増収、対象住民への行政サービスの増加、また居住地域を含む近隣地区での商業需要等が増えることなどが考えられる。なお、在日米空軍と航空自衛隊が運用することになる共同統合運用調整所による影響等については、国防上の措置であることから情報提供がない。

中原 横田基地でのこの1年の各種訓練の状況は。

市長 平成21年度中は、3月末から4月初旬にかけて実施が予定されている訓練も含め年間では13回となる。内容は、有事の際の即応体制をとることを目的とした訓練や、航空機等の事故を想定した訓練等とのことである。これらの訓練が行われる際には、可能な範囲内で影響を確認し、また、夜間の場合には、市民の皆様からの問合せ等に対応するため、職員を待機させており、特に、著しく周辺住民に影響を及ぼすと思われるNLPや、騒音が出る訓練などについては、訓練の中止若しくは影響の緩和について、横田基地周辺の市町で構成する「横田基地周辺市町基地対策連絡会」で要請している。

中原 米軍横田基地や関連施設で、ジェット燃料や有害物質の流出事故が多数発生しながら、米側からの通告がほとんどないことが国会でも問題にされたが周辺自治体への情報提供はされているか。

市長 横田基地やその関連施設における有害物質流出事故件数が、国会で取り上げられた平成19年3月以降、横田基地内で発生した事故については、発生時から処理経過等について情報提供されている。特に、平成19年9月に発生した、航空機燃料の貯蔵ピットから流出した事故については、周辺自治体の職員による現地確認も行っており、その後の在日米軍及び防衛省の対応についても情報提供されている。

中原 昨年8月、武蔵村山市内で、バイクで通りかかった同市の女性社員が、道路をふさぐように張られたロープに引っ掛かり、転倒、頭蓋骨陥没の重症を負う事件が発生した。警視庁は、米軍横田基地所属の米兵の子ども4人を殺人未遂容疑で逮捕したとの報道があったが、この事件についてその後の情報提供はされているか。

市長 本件については、発生から被疑者の逮捕、その後の経過などについて、当初、外務省、防衛省、在日米軍から正式な情報提供はなかった。通常、在日米軍の軍人等が基地の外で交通事故等を起こした場合、情報提供があるが、本件については事故発生後、警視庁の捜査が行われていたことから、新聞報道以外には情報が出てこなかったものと思われる。このため、基地周辺自治体で構成する「東京都と周辺市町連絡会」において、横田基地に直接、情報提供について要請した。その結果、事件の起こった武蔵村山市に対して、基地司令官より事件に対する謝罪、また、日米地位協定の解釈に混乱が生じたことから容疑者の身柄引き渡しに時間を要したことについて説明があったとのことである。なお、横田基地第374空輸航空団副司令官からも、被害者及びその家族へ謝罪したとの報告があった旨、聞いている。

中原 羽村市における在日米軍関係の居住者数はどうなっているか。

市長 横田基地内も含み市内に居住する米軍関係者の数は、防衛省から提供された平成21年3月末時点のデータで、総数が1,493人、そのうち基地内に居住している方が1,389人、基地の外に居住している方が104人となっている。

中原 市として市民とともに基地の返還に取り組むべきと思うがどうか。

市長 横田基地に対する私の考え方は、従来から整理・縮小・返還であり、そのスタンスは変わっていない。しかしながら、横田基地の運用につきましても、国防上の措置であるので、市としては、今後も、整理・縮小・返還という基本的な立場に立ち、横田基地を起因とする市民生活への影響を最小限にするよう対応していくとともに、それら基地の運用から生じる影響について、引き続き、国において適正に対応するよう、横田基地周辺の5市1町で共同して強く要請していく。

